

神田川

について調べるには

「パスファインダー」(Pathfinder)とは、疑問や問題を解決するために図書館の資料や情報を探す際に参考となる基本資料や情報源、調べ方を紹介する「テーマ別の手引き」のことです。

皆様の調べものや本探しにお役立てください。

北新宿図書館からほど近くには神田川が流れており、春に桜並木が見どころの遊歩道には多くの方が訪れます。その様になじみ深い神田川ですが、どのような歴史・変遷をたどって現在に結びついたのでしょうか。新宿区立図書館が所蔵する資料の中からお薦めの本や関連施設・サイトなどをご紹介します。

わからないことがありましたら、お気軽に図書館職員におたずねください。



調べるためのキーワード

新宿区立図書館の検索機、もしくは、新宿区立図書館ホームページ「[簡単検索](#)」で「キーワード」を入力すると、関連資料がどこの館にあるのか確認できます。

神田川 川 上水 歴史 紀行 河川 江戸川



直接図書館の棚に行って探す

図書館の資料は、テーマ(分類)ごとに番号順で並んでいます。本の背表紙には右の図のようなラベルが貼ってあります。上段は別置記号、分類番号、下段は図書記号です。

図書記号は、原則著者名のよみの頭文字です。 [分類番号等について詳しくはこちら](#)

このパスファインダーでは、(資料番号 別置記号 分類番号 図書記号)の順で表記しています。 例 (0060123450 R336.8-シ)

分類番号

R336.8
シ

別置記号

図書記号

●『[地形で見る江戸・東京発展史](#)』鈴木浩三／著(筑摩書房)2022年11月【ISBN】978-4-480-07517-8 (0660267971 BS213.6-ス) 神田上水系が江戸の重要な都市機能であった水道の樋線(現在の排水管)として、いかに活用されたかという発展プロセスを述べている。

●『[水都としての東京とヴェネツィア](#)』ローザ・カーロリ／監修(法政大学出版局)2022年1月【ISBN】978-4-588-78013-4 (0660206572 518-ス) 東京とヴェネツィア、2つの水都のあり方を比較。2020年1月にヴェネツィアで開催された国際シンポジウムの成果をまとめたもので、「水辺の記憶-神田川周辺の失われた水流空間の痕跡」【ローザ・カーロリ／著】が収録されている。

●『[土地の記憶から読み解く早稲田](#)』ローザ・カーロリ／著(勉誠出版)2021年4月【ISBN】978-4-585-22299-6 (0660189314 C213.6-カ) イタリア人研究者が歩き続けた現地踏査、また膨大な文献や史料から土地の文化的・歴史的価値を発見するもうひとつの江戸・東京学。

●『[散歩の達人 2021-2](#)』交通新聞社 2021年1月(0601261948 C050-サ) 健康散歩のコースとして「早稲田・江戸川橋／神田川沿いに文化の変遷をたどる」を紹介している。

- [『東京スリバチの達人 分水嶺東京北部編』](#) 皆川典久／著（昭文社）2020年12月【ISBN】978-4-398-14594-9（0660189448 C454-ミ） 東京は高低差のある坂や窪地（スリバチ状の地）が多くある。現代のスリバチ地図に明治・江戸時代の地図を加え、時代と共にどのように変化していったかなど東京の魅力をお届け。
- [『写真のなかの江戸』](#) 金行信輔／著（ユウブックス）2018年2月【ISBN】978-4-908837-03-6（0660189322 C213.6-カ） 幕末・明治初期に撮影された古写真を、絵図・古地図・文献史料を駆使し実証。風景から江戸の実像を読み解いていく。
- [『王子から見た東京の歴史』](#) 土屋新五郎／著（新潮社図書編集室）2017年9月【ISBN】978-4-10-910099-1（0060094261 C213.6-ツ） 徳川氏の江戸開府前、江戸村よりも王子村のほうが大きな村だった。江戸以外からの視点で江戸そして神田川について述べている。
- [『神田川河畔物語』](#) 大久保元春／著（葺柿堂）2011年10月【ISBN】978-4-434-16111-7（0050525705 C291.3-Sオ） 神田川源流から河口まで、著者の河畔を辿る縁探しの旅。神田川及び関係の深い川の河畔を取上げ、その縁の深さをエピソードや史実を交えながら紹介。
- [『神田川再発見』](#) 神田川ネットワーク／編（東京新聞出版局）2008年12月【ISBN】978-4-8083-0903-9（0601233070 C291-カ） 神田川沿いのウォーキングのガイドブック。踏査したデータに江戸名所図会の風景や写真を織り込み、神田川水系を知る歴史資料としての側面も持つ。
- [『江戸の川・復活』](#) 渡部一二／著（東海大学出版会）2008年9月【ISBN】978-4-486-01799-8（0004525462 C517.2-ワ） 日本橋川・神田川・隅田川を対象とし、絵図に描かれた水辺の空間の面影を発見している。また江戸の風物詩の体感型野外博物館構想についても解説。
- [『神田上水工事と松尾芭蕉』](#) 大松駿一／著（神田川芭蕉の会）2003年3月【ISBN】4-925187-27-9（0004098791 C518.1-オ） 松尾芭蕉は、深川へ隠棲する直前の4年間に神田上水の改修工事に携って過ごした。工事の役割などといった芭蕉の上水工事を考察する。関連年譜や神田上水路の散策案内も付録。
- [『江戸東京年表』](#)（増補版）吉原健一郎／編（小学館）2002年12月【ISBN】4-09-387421-2（0601017094 C213.6-エ） 1590年の家康の江戸入城から、2002年の大江戸線汐留駅開業まで、約400年間の江戸・東京の重要な出来事を収録。政治経済から生活・風俗まで幅広く扱い「事件と生活」「文化」の欄で構成された年表が主。
- [『神田川』](#) 東京新聞社会部／編（東京新聞出版局）1994年11月【ISBN】4-8083-0508-9（0601018796 C291-カ） 戦後の急速な工業都市化によって一時“死の川”と化した神田川。もう一度再生させるべく尽力した地域住民の投稿、記者のルポなどで構成したもの。



専門事典・辞典で調べる

- [『全世界の河川事典』](#) 高橋裕／編集委員長（丸善出版）2013年7月【ISBN】978-4-621-08578-3（0960069810 R517-ゼ） ※館内閲覧のみ
日本と世界の河川・運河などを採録した辞典。河川の概要・歴史・地図など収録。
- [『川の地図辞典』](#) 菅原健二／著（之潮）2007年12月【ISBN】978-4-902695-04-5（0004303694 C517.2-Sス） ※館内閲覧のみ
川の流路、歴史や役割などに触れた辞典。江戸・東京の川、堀、用水など約400を網羅している。

- 『[図説江戸・東京の川と水辺の事典](#)』 鈴木理生／編著（柏書房）2003年5月【ISBN】4-7601-2352-0（0301045906 C517-ス） 江戸・東京の川の移り変わりを多方面から都市形成の観点で読み解く。
- 『[江戸東京学事典](#)』 小木新造／編（三省堂）2003年3月【ISBN】4-385-15388-4（0600905556 C291-エ） 「江戸」と「東京」の400年を1100の項目で解説した都市学事典。巻末に江戸東京の地図、年中行事などを収録している。1987年刊の新装版。
- 『[江戸学事典](#)』 西山松之助／[ほか]編（弘文堂）1984年3月【ISBN】4-335-25013-4（0600038760 213.6-エ） 江戸の社会と文化の実像を「山の手と下町」「江戸紫」など斬新な視点から浮かび上がらせている。




雑誌・新聞・視聴覚資料（CD・DVD等）で調べる

- 『[東京人 2023-6](#)』 都市出版 2023年6月（0630452990）
「特集 東京地形散歩 2023」の中で神田川支流の暗渠が取り上げられている。
- 『[東京人 2020-10](#)』 都市出版 2020年10月（0031279008）
「東京の暗渠空間学 失われた水系と水路網そして景観を読む」の中で神田川支流が取り上げられている。
- 『[神田川 いま むかし 新しい自然のいぶき](#)』
新宿区企画部広報課／企画（岩波映像販売株式会社）2003年（0043035710 V99）
神田川の歴史や区民の方との取り組みを通して、新たな神田川の姿を紹介しているビデオ。



商用データベースで調べる

- ジャパンナレッジ Lib／新宿区立図書館内の利用者端末で利用可
百科事典・言語辞書、叢書、雑誌などを一度に検索できる辞書・事典のデータベース。“神田川”と入力し基本検索を行った場合、『日本大百科全書』『国史大辞典』『角川日本地名大辞典』などで参照できる。
- MAGAZINE PLUS／新宿区立図書館内の利用者端末で利用可
雑誌・論文情報のデータベース。“神田川”を入力し「記事から探す」の検索を行った場合、歴史・地理の分類など数多く参照できる。
- 国立国会図書館デジタルコレクション
<https://dl.ndl.go.jp/>
 国立国会図書館で収集・保存しているデジタル化資料を閲覧できるデータベース。



インターネットで調べる

- 東京都水道歴史館デジタルアーカイブシステム
https://www.suidorekishi.jp/collection/#digital_archive
東京都水道歴史館で保存している古文書や絵図・写真などの閲覧サービス。トップページから「資料をみる」「図書をさがす」などで検索をし、デジタル化資料を閲覧できる。

●ジャパンサーチ



<https://jpsearch.go.jp/>

幅広い分野・地域のデジタルアーカイブが連携し、まとめて検索や閲覧が可能なプラットフォーム。様々な機関の協力の元、国立国会図書館がシステム運用を行っている。



他の図書館、類縁機関等で調べる

●東京都水道歴史館

<https://www.suidorekishi.jp/>

東京都水道局が運営。江戸時代から現代までの水道に関する資料によって、江戸から東京に至る水道の歴史と技術・設備に関わる展示を公開している。館の裏には神田上水の石樋（移築）も復元されている。

●神田川ふれあいコーナー [新宿区公式ホームページ]

http://www.city.shinjuku.lg.jp/seikatsu/file14_03_00003.html

戸塚地域センター内にある神田川について学び触れ合える新宿区の施設。



神田川を訪ねる

●トーキョーウォーキングマップより 「四季折々に美しい神田川沿いの遊歩道を歩く」

<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/walkmap/map/detail/129.html>

神田川上水公園や肥後細川庭園など緑や水辺が多いウォーキングコースを紹介している。

●東京の観光公式サイト GO TOKYO より

「神田川」 <https://www.gotokyo.org/jp/spot/98/index.html>

「神田川の染色工房」

<https://www.gotokyo.org/jp/destinations/waterfront/dyeing-workshops-of-the-kandagawa-river.html>

「水辺から辿る江戸・東京の歴史」

<https://www.gotokyo.org/jp/destinations/waterfront/history-by-the-water.html>

テーマを絞り、コースポイントを押さえ紹介している。

(神田川に関連するコースのみ抜粋)

●新宿観光振興協会ホームページより

「神田川遊歩道（早稲田地区）」

https://www.kanko-shinjuku.jp/spot/kw-神田川/article_414.html

おすすめスポットとして神田川遊歩道について紹介している。



※イメージ写真

※掲載情報は2024年1月14日現在のものです。

※新宿区立図書館では、このパスファインダー掲載資料の他にも関連図書を所蔵しています。

※新宿区立図書館ホームページの所蔵検索結果の見方は[こちら](#)

ご覧になりたい方は、図書館職員までお問い合わせください。

担当：新宿区立北新宿図書館（ナカバヤシ株式会社）